

株式会社高島屋 と 株式会社阪急阪神百貨店 が業務提携を深化 ～ 「マーケット開発・育成」と「社会・業界課題解決」に向けた取り組みを推進 ～

株式会社高島屋（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：村田善郎、以下「高島屋」）と株式会社阪急阪神百貨店（本社：大阪市北区、代表取締役社長：山口俊比古、以下「阪急阪神百貨店」）は、両社を取り巻く環境変化に対応すべく、「マーケット開発・育成」および「社会・業界課題解決」にフォーカスした取り組みを強化してまいりますのでお知らせいたします。

これまで、高島屋と阪急阪神百貨店では両社の業績向上に寄与することを目的に、2009 年より業務提携に関する委員会を発足させ、営業力強化やコスト削減に向け、両社の持つノウハウ等を活用した取り組みを共同で推進してまいりました。その中で、ファッション分野や中元・歳暮ギフトでの商品開発など、両社の市場優位性を発揮し、一定の成果を上げてまいりました。近年では、廃プラスチックやフードロスの課題解決に向け、SDGs の分野でも連携し、取り組みの幅を拡大させています。

今後も業務提携当初の目的を踏まえつつ、これまでのスケールメリットを軸とした量的な取り組みから、環境変化への対応を主眼とした質的な取り組みへと転換を図ってまいります。こうした取り組みを継続・深化させることで、社会と市場の変化に柔軟に対応しながら、持続可能な成長と企業価値の向上を着実に目指してまいります。

◎ 共同取り組みにおける注力ポイント

【 MD サイクルの見直し 】

両社では、婦人衣料において、「セールだから買う」ではなく「欲しいときに購入する」という近年の生活者ニーズの変化と、夏季の長期化を踏まえ、MD サイクルを見直し、夏物商材の正価販売を拡大しました。

具体的には、6 月下旬から「盛夏 MD」、8 月中旬からは「晩夏 MD」としてお取引先さまと協業し、鮮度の高い正価商材を売場に投入することで、長期化する夏に対し短期サイクルで新たな商材を提案することにチャレンジしています。この結果、取り組みを進めたブランドの正価商材の売上は伸長し、近年勢いが鈍化しているセールの売上をカバーしたことで、前年実績を上回っています。

短い MD サイクルで、季節に即した鮮度の高い提案をし続けることが、百貨店が今後なすべき、またファッションを盛りあげていくための方向性ではないかと考えます。今後、本秋冬および次の春夏シーズンに向け、この取り組みを他ブランドにも積極的に拡大し、お客さまに常に鮮度の高い商品を提案してまいります。

【 マーケット創出に向けた日本各地の産地との共創 】

今後、両社共同で「日本の地域」をテーマに、国内外に向けた日本文化の発信・接点の拡大に取り組んでまいります。文化を伝え、新たなマーケットを創出することにより、地域文化の継承や発展、地域活性化につなげていきます。両社の協業によって、産地と共創しながら百貨店としての文化的な価値創出を具現化してまいります。

共同キャンペーンの実施

今回、両社の共同キャンペーンとして「日本の美と技を未来につなぐ」をそれぞれ以下の期間、該当店舗にて実施いたします。各地の地場産業・伝統工芸の担い手との共創により、新しい価値を創造し、産地の技術継承・活性化につなげます。

(共同ロゴ)



高島屋バージョン



阪急阪神百貨店バージョン

株式会社高島屋の取り組み

期 間：9月24日（水）～30日（火）

場 所：日本橋店 本館1階 正面イベントスペース 『メゾンドエフ』POP UP SHOP
大阪店 1階 グッドショックプレイスおよび各階対象売場

内 容：高島屋日本橋店と大阪店では上記期間、「日本の美と技」を伝える POP UP SHOP などを開催いたします。

日本橋店では「日常を上質なものに」をテーマに、産地を巡る中で出会った、ものづくりにこだわりのあるブランドや作り手の商品を紹介し、その背景にある熱い思いをお届けいたします。また、大阪店では、歌舞伎の舞台背景の製作技術を用いた CHIKIRI PROJECT のアート展示をはじめ、高い技術とデザインで国内外から評価される「日本の美」を、現代の視点で再構築し、進化させていく人々や工房をご紹介します。期間中は、対象売場にて各地域の職人による商品販売やワークショップも開催予定です。

特設サイト URL：https://www.takashimaya.co.jp/store/special/nippon_wazatobi/index.html

株式会社阪急阪神百貨店の取り組み

期 間：9月24日（水）～10月7日（火）

場 所：阪急うめだ本店、阪急メンズ大阪 各階対象売場

内 容：「Japan and me. この国の美に染まる」をテーマに、「素材・技」「纏う（まとう）」「暮らし」「季節を感じる旬の味」を切り口に、さまざまなモノやカルチャーをご提案します。また、各地の地場産業や伝統工芸の担い手との共創を「with Local.」としてクローズアップし「日本の美と技」をお伝えします。

阪急うめだ本店 1階コンコースウインドーでは、岐阜県高山市に拠点を置きながら世界で活躍する左官職人・挾土秀平氏による“日本の美”から着想した独自の世界観を表現。自然素材の表情や色を生かし、物語性のある壁を作り出す挾土氏の大胆かつ豊かな感性を体感いただきます。（ウインドーは11月10日（月）まで）。

特設サイト URL：<https://website.hankyu-dept.co.jp/honten/h/japanandme/>